高３生用

甲斐塾講座案内

2026年

(70期生)

新入生・その保護者方へ

はじめまして。私が甲斐です。当塾は中１で入塾した者が高校卒業までの６年間を通い続ける“教育の場”です。長い歳月の間に仲間意識がはぐくまれ、先輩との交流もあって、塾全体が活気に満ちた若者の社交場にもなっています。彼等に健全な方向づけを与えるために、私自身、教育上のいろいろな模索をおこないました。そして今も探し求めているものは、スポーツや遊びに熱中できる気概を学習に導入させる方法です。この“おもしろいからやりたくなる”という学習を塾生に実践させたく、教材はもちろんのこと、講座の編成や運営についても様々な試みをなしています。例えば教科書的内容を塾と学校で反復するだけの学習にしていないのも、これでは、教わる者にとって一度見た味気ないテレビ番組をもう一度見せられているようなものだからです。それが成績を向上させる最良策だと叫んでみても、生徒達が意欲をかき立てるわけもなく、もはやこれは教育でないと考えています。

このような考えを推し進めようとして、今日の甲斐塾では卒業生も教壇に立ち、私に教育されつつある中学・高校生の受験勉強に助言と指導を与える役割を担ってくれています。私“甲斐さん”を共通の師として、教える者と教えられる者とが講座ごとになごやかな人間関係の輪をつくり、このような幾重もの輪の集合体が甲斐塾と言えます。我々が“甲斐さんファミリー”と呼ばれるのは、そのためなのでしょう。

甲斐　　喬

当塾の費用はすべて税込みで表示しています。

高３の講座を紹介します

講 座 名	曜日・時間帯	受講料	対象者・授業内容など
６数学Ａ　宮村	(火) 7:45～10:15	¥11,000.－ 欄外参照	・記述式テスト(２次)に備えるクラス。数ⅠⅡＡＢを総合的に学習する。要予習。客観式テスト対策については欄外に。
６数学Ｃ数学科	(月) 7:45～10:15	¥11,000.－	・数Ⅲの演習。理系生対象。計算力もつけてもらう。 ・「数学Ａ」も取ること(合計受講料は¥16,000.－)。 ・できる人は「数学Ａ」の前の時間に提出するだけでもよい。
６数学 Ｄ	(木) 6:30～9:00	¥14,000.－	・共通テスト対策の人だけを集めて個別指導します。 ・他曜日の個別でも対応できます。
数学個別講座Ｈ	冊子裏の個別表 参照	¥7,000.－	・学校の授業を個別に学習する。他の曜日・時間帯もあり。 ・入試のことよりまず日頃という人のための講座。
６英語千歳	週２回	¥11,000.－	・志望校に合わせて，少人数で授業します。 ・単語テスト・イディオムテスト・英作文・添削を希望に応じてやってゆきます。
	週３回	¥15,000.－	
６物理Ｊ物理科	(土) 6:30～10:15	¥13,000.－	・高２からの継続クラス。 ・物理を基礎から学びたい場合は，相談のうえ個別に対応。 ・授業開始時刻は皆さんと相談の上決めます。
６化学Ｌ化学科	(金) 6:30～10:15	¥13,000.－	・化学の全分野を網羅する。 ・客観テストと筆記テスト両方に対応させる。 ・授業開始時刻は皆さんと相談の上決めます。

注：◎**「月額の納入額」は、上記(下記)の受講料の合計に在籍料¥4,000.－を加算した金額となります。**

◎「数学Ａ」と「数学Ｃ」を同時に受講するときは，受講料を合わせて16,000.－とします。

◎ 個別講座の受講料は，週あたり１回75分で月額7,000.－です。週あたり２回受講する場合は月額14,000.－となります。受講曜日・時間帯は，冊子裏の「個別の時間割」を参考にしてください。
ただし，いずれのクラスも少人数制ですので人数に限りがあります。講師と相談のうえ，決めていただきます。

◎ 数学で客観式テスト対策のみを希望する者は，以下のいずれかに所属してください。
・ある程度基本がわかっている人 → 初めのうちは「数学Ａ」を受講。
・基本からわかっていない人　　→ 個別講座を受講。時間割は相談のうえ。

◎ 生物を受講した場合が，個別指導しますので，宮村に相談してください。

新入生の入塾要領

・欠員のあるかぎり，どの講座も受講できますが，本人の学力によってベストな受け方を推奨したいと思います。
相談して決めましょう。
・まず、別紙の「講座紹介」を読み、受講を希望したい講座・関心のある講座を見つけてください。
その後，電話で御連絡ください。日曜・祝日を除く，16:00～19:45にお願いします。
詳細の説明，あるいは，相談日を決定いたします。質問・要望などありましたら，お気軽にお問い合わせください。
・原則として２月２日(月)より受付します。受講届に，入学金・「月額の納入額」を添えて提出してください。
・数学や物理は高２からの継続で随時スタートしていきます。一日も早く受講してほしいです。詳細は御連絡ください。
・継続生の動向により，曜日の変更などをお願いすることもあります。ご了承ください。
・新学期は３月２日(月)より開始されます。
・３月以降でも欠員のある限り受講できます。「受付」に申し出てください。

継続生へ

・現在の在籍しているクラス内で，各自に受講方法をアドバイスします。それを参考にして受講科目を決定しなさい。
・１月30日(金)までに受講届を提出しなさい。悩んでいる人は担当講師に相談して決めなさい。
現在個別講座のみを受講している者は，担当講師に説明を聞きなさい。
・授業は３月からです。２月中は高２生としての授業が平常通りあります。

こんなアドバイスも参考に！

◎　数学科からの一言

受験数学は，推理クイズのようなものです。必ず解く鍵があり，しかも無駄な鍵は与えられていません。解く者は，与えられた鍵の種類を見極め，それをうまく使いながらゴールを目指せばよいだけなのです。数学が苦手な人は，鍵の種類がわかっていないか，その使い方・使う順序がわからないかのいずれかです。

まず，鍵の種類がわかっていない者。１つ１つの鍵をていねいに勉強しすぎていませんか。テスト前に特定の単元ばかり勉強し全体像を見ないから，こんなことになってしまうのです。何も見ないで，高１・高２の間に習った分野を書き出せますか。細かい定理を覚える前に，まずどれだけの単元を勉強しなければならないか，わかっていなければ何もなりません。こういう人は「個別数学」を受講してください。とりあえず細かい定理を無視して，急ピッチで全分野を把握するのです。細かい肉付けはそれからです。

鍵の使い方・使う順序がわからない者。入試問題は，複数の鍵が与えられていて，うまく組み合わさないと解くことができなくなっています。この複数の鍵が問題を難しくさせているのです。「数学Ａ講座」では，鍵を使ってどのように問題を解いていくかを練習します。授業は次のように進めます。

１度目の予習，自力で → 授業で，私が解き方を見る → ２度目の予習，もう一度自分で → 次週の授業で再チェック

これを繰り返します。毎年のことですが，２度目でもなかなか完答できません。このように何度も何度も同じ問題に触れることで，徹底した鍵の使い方を教えていきます。問題量はこなせませんが，どのように入試問題にアプローチしていけばよいか，きっと会得できると思います。なお，理系生は数Ⅲの演習のため「数学Ｃ」もあわせて受講しなさい。

◎　英語科からのメッセージ

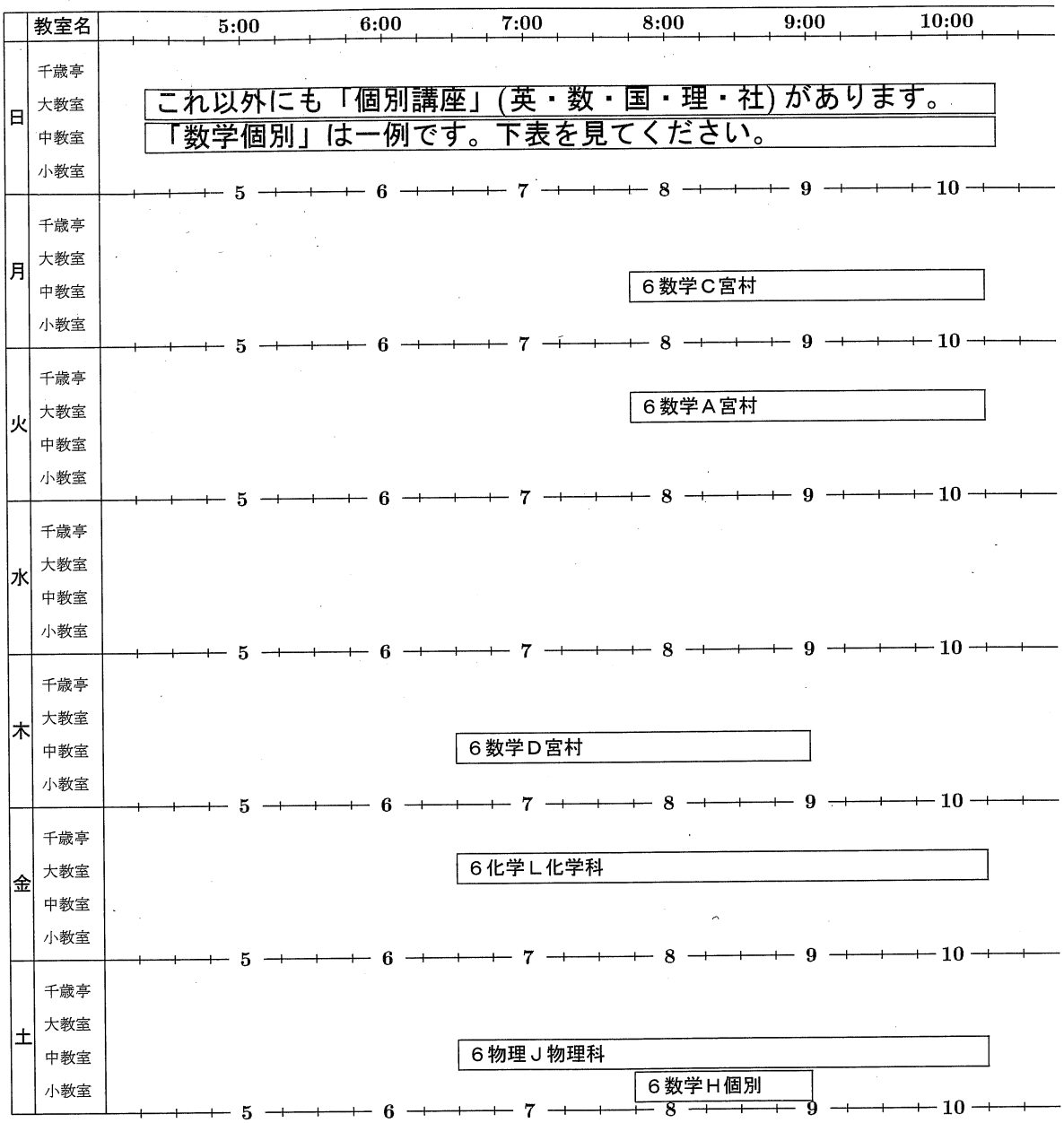
テスト前に丸暗記してテストを通過してきたキミへ。それは本当の英語の姿ではありません。ある程度覚えなくてはならないところはありますが、英語にも「思考」は必要です。まず自分の力で英文がどのような意味になるか「思考」します。そして授業に臨んで下さい。教室での訳と自分の「思考」したものが違えば、なぜ違うか「思考」して下さい。答えは必ずあるはずです。その答えを教室で学びとって下さい。　（千歳）

◎　「物理」は、急ぎます。

客観試験でも物理全範囲から出題されますので，急がねばなりません。さらに継続生の様子から考えて，今年は３コマ授業にします。何とか夏頃までにすべて終了させたいと思っています。ついてきなさい。そこからは演習をしまくります。これで何とか物理を得点源にできるはずです。高２末までに，力学・波動・熱力学(物理分野)の基本を教えました。電磁気ももう少しです。途中から編入する新入生がふびんでなりませんが，やる気さえあるなら，何とか救ってあげます。別の日に週１回来てもらい(月額7,000.－)個別に教えてあげます。

◎　「化学」は、講義と演習を繰り返します。

継続生にも高２の時に化学をやらせなかったのは不安です。授業が変則的ですが，演習は別の時間帯でも見られるように配慮します。化学は覚えものですから，やった人は確実に点数が伸びますよ。



個別の時間割　（随時変わりますので，お問い合わせください）

・英語・国語・社会の個別は「英」より，数学・理科の個別は「数」より選んでください。
・空き人数は随時変わります。学年や内容によっても異なります。ご相談ください。
（別の時間帯にも空きができることもあります）

曜日	2:45～4:00	4:00～5:15	5:15～6:30	6:30～7:45	7:45～9:00	9:00～10:15
月		数	数	数	数	英　数
火		数	数	英	英	英
水		数	数	数	英	
木		数	数	英　数	数	英
金		数	数	数	英	英
土		数		数	英　数	英
第2･4日曜					英	

甲斐塾のきまりを了承してもらいます

1．新年度が開始されるのは？	どのクラスも３月から始まって、１年間の継続授業になっています。 途中での入退は自由にできますが、以下の手続きをしてください。
2．途中から入塾するときは？	「受付」に申し出てください。４月以降ならば授業を参観することが できます。
3．退講・退塾したいときは？	「受付」に申し出てください。月謝袋を提出してもらいます。なお、 手続きがなされていない場合は受講料を請求させていただきます。
4．クラス変更したいときは？	空席があれば自由に変更できます。「受付」に申し出てください。 ただし、月末に届け出るようにしてください。
5．受付業務を行なう時間は？	月曜日～土曜日の17時～21時です。 祝日や塾の特別行事，春夏冬休み期間は業務を行なっておりません。
6．電話による問い合わせは？	末尾の電話で応対いたします。ただし、授業中に講師や塾生を呼び 出すことは、できるだけ控えてください。
7．受講料を納入する方法は？	月謝袋を前月にお渡しします。前月中に納入してください(先払い制)。 納入された受講料は退講の場合も返金せず，おつりは来月分で調整いたします。
8．全休した場合の支払は？	納入していただきます。ただし病気・留学などの場合は，その限りでは ありません。可能な限り対応しますので，必ず事前にご相談ください。
9．納入金を滞納したときは？	前月までにお支払いがないときは滞納となります。すぐにお支払いください。 どうしてもの理由があるときは，ご相談ください。
10．面談を希望されるときは？	本人との面談は、本人自身が担当講師に申し出なさい。 保護者との面談は、日時を決めますので，御連絡ください。
11．授業の日が祝日のときは？	原則として授業も休みです。ただし高３講座などで授業をする場合が あります。そのときは、担当講師が前もって指示します。
12．暴風警報が出ていたら？	学校がおこなう処置に準じますから、夕方に警報が解除されても、 塾は閉鎖されます。
13．春、夏、冬の休み期間は？	一週間程度の休みを設けます。また休み期間に補習を設ける事もあります。 なおプロ講師には年に一週間ほど，別途に休みを設けさせていただきます。
14．塾内での飲食については？	ロビー・自習室では許可しますが、あとの処理(分別)をきちんとしなさい。 授業中の飲食は原則禁止ですが，詳細は講師の指示に従いなさい。
15．塾の備品を破損させたら？	悪質な場合は、それなりの処理をとらせてもらいます。共同で使用する物を いためつけるような生徒は、強制的に退塾させます。
16．自転車で塾に来ることは？	ルールを守る限りかまいません。指定の場所におきなさい。 夜間～昼間，塾の授業のない日の駐輪はできません。バイクは禁止です。

甲斐塾の所在地と連絡先です

所在地：〒612-0073 京都市伏見区桃山筒井伊賀西町17番地 千歳ビル２階
（京阪丹波橋駅 北改札口を出て，右へ(山手)。地上に出てきてスグ左手に千歳ビル２階）
（近鉄丹波橋駅 京阪への連絡橋 途中で降りて 右(北)へ200m，交差点に出る手前10m左，ビル２階）
電話 075（611）5555(17時～)
090（7870）4757(10時～15時)(宮村) メール **please@kaijuku.me**（宮村）
090（2282）6085(10時～15時)(千歳)

《太線の欄を記入してください。》

受　講　届

〈下記に示された個人情報は，当塾からの連絡・業務等に使用し，第三者に開示することはありません〉

生徒番号　７０

フリガナ：

氏　　名：　　男 女

届 出 日：令和　　年　　月　　日

生年月日：平成　　年　　月　　日

入塾学年：（○で囲んでください）

中	中	中	高	高	新
1	2	3	1	2	規

学 校 名：　　高等学校

家族構成：記入例　父…警察官　母…家事　祖父…文具販売　弟…小３

父 …　　…　　…

母 …　　…　　…

住　　所：〒

電話番号：（　　）　　－

友 人 名：同席したい友人があればその人の名前を書いてください。

当塾の在学生・卒業生の親族名または紹介者名：
（該当者があればその人の名前を書いてください）

希望講座：（受講を希望する講座名を○で囲んでください。）

数　学	英　語	理　科
６数学Ａ　宮村	６英語千歳　週１	６物理Ｊ
６数学Ｃ　宮村	６英語千歳　週２	６化学Ｌ
６数Ｃ提出希望	６英語千歳　週３	
６数学Ｄ　宮村		
６数学個別週１		
６数学個別週２		